



東海村

議会だより

第42号

2020.10



目次

9月定例会

旧中央公民館を解体して駐車場に	P 2
えん罪被害者を救うための請願などを採択	P 3
会議システムの運用を開始しました	P 3
賛否の分かれた議案、討論	P 4
村政を問う! 〔一般質問〕	P 5～11
12月定例会日程(予定)／議会の豆知識	P12

ゴミ回収のようす

9月議会 あらまし

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



QRコード

令和2年第3回定例会（9月議会）は、9月1日に開会し、25日までの会期で開催しました。

一般質問は、9月9日から11日までの3日間で12人の議員が質問を行いました。また、14日から18日にかけては、予算決算委員会で補正予算と決算を審査しました。

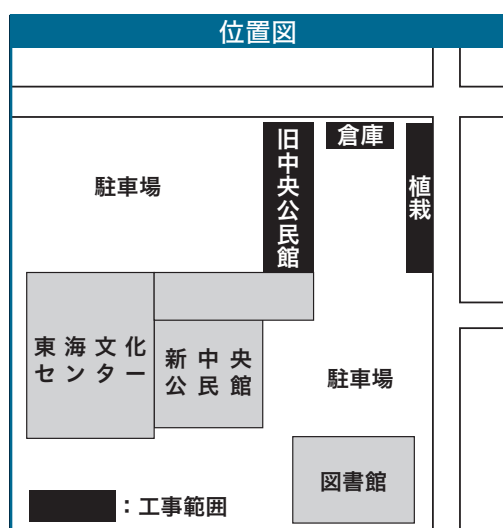
25日の議案審議では、選挙運動の公費負担に関する条例制定、令和2年度一般会計・特別会計補正予算、旧中央公民館等解体の工事請負契約の締結など、村長提出の議案34件全てを可決しました。なお、令和元年度決算の認定では、一般会計・特別会計・企業会計すべての決算を認定しました。

村議・村長選挙の費用の一部が公費負担に

公職選挙法の改正に基づく「条例制定」により、次期村議会選挙及び村長選挙から、選挙運動用の「自動車の使用」及び「ビラ・ポスターの作成」費用が公費で負担されることになります。（※ 上限有り）

なお、法改正では村議会選挙においても供託金制度が導入されます。

（供託金についてはP12「議会の豆知識」もあわせてご覧ください。）



旧中央公民館を 解体して駐車場に

「（仮称）歴史と未来の交流館」建設に伴い、文教地区再整備の一環として旧中央公民館を解体し、駐車場を整備します。

跡地は来年7月末までに、ひとまず砂利敷きの仮設駐車場になる予定です。道路側の植栽は撤去し、また通路を交差点側に造る計画です。解体工事費用は7,909万円です。

第3回 臨時会

新たな新型コロナウイルス対策議案を可決

7月30日に、令和2年第3回臨時会を開催し、新たな新型コロナウイルス対策のための一般会計補正予算を審議した結果、原案どおり可決しました。

主な歳入

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
- ・学校保健特別対策事業費補助金ほか

主な歳出

- ・テレワーク環境整備
- ・避難生活用物資備蓄
- ・新生児臨時定額給付金
- ・保育士等慰労金
- ・店舗等維持支援光熱水費補助金
- ・小学校コンピュータ機器整備運用ほか

えん罪被害者を救うための 請願などを採択

6月議会から継続審査をしていた「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願を9月議会で採択しました。これは、誤判により有罪となった被害者を救う法制度の確立を国に求めるものです。

また、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書」の採択を求める請願も採択しました。

さらに、茨城県町村議会議長会より依頼のあった「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」の提出についても可決しました。これは、コロナの影響で国民生活への不安が続く中、地方税・地方交付税の確保などを国に求めるものです。

3件とも9月25日付で国に意見書を提出しました。

議会のICT化を図る

会議システムの運用を開始しました

議会の機能強化及び情報伝達の迅速化を図るため、端末使用基準等を定めるとともに、今年6月にタブレット端末を全議員に配付し、2つのシステム（※会議システムとグループウェア）を導入しました。

今後、議会ではタブレット端末を用いて本会議や委員会を行います。

また、運用開始前に全議員対象にタブレット端末の操作研修を行いました。



▲本会議のようす

本会議や3常任委員会など一部の会議で運用を開始しました。



▲村長がタブレットを使用して議案の説明をしました。



▲研修では、操作へのさまざまな質問が出されました。

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい										みすずの会			公明党				結果		
	鈴木 昇	飛田 静幸	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修	江田 五六	恵利 いつ	阿部 功志	岡崎 悟	植木 伸寿	大名美恵子		村上 孝	
認定第1号	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定	
認定第2号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第3号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第4号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第9号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
認定第11号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	認定
発委第4号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決
請願第2-1号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	可決

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

認定第1号	令和元年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号	令和元年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	令和元年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	令和元年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第9号	令和元年度東海村水道事業会計歳入歳出決算の認定について
認定第11号	令和元年度東海村下水道事業会計歳入歳出決算の認定について
発委第4号	刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書について えん罪被害者を救済する法制度を確立するよう、国に対し意見書の提出を求めるもの
請願第2-1号	国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願

討論

討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

認定第1号 令和元年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について

反対

大名 美恵子 議員

保育士等緊急雇用対策ほか評価する決算もある中、マイナンバーを紐づかせた業務や茨城租税債権管理機構への税徴収依頼、国保会計への法定外繰出し金をゼロにした決算は、住民サービスの後退として容認できない。

認定第3号 令和元年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

大名 美恵子 議員

そもそも後期高齢者の医療保険制度としては適切でないもとで、長い間、村を支えてこられた高齢者の医療の確保には、村独自の支援が求められている。

認定第4号 令和元年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

大名 美恵子 議員

介護の必要性を個人の責任とせず、多年にわたり社会の進展に寄与してきた高齢者には、生きがいと安心の保障こそ必要。国庫負担の増額で、安心して利用できる制度への転換を。

認定第9号 令和元年度東海村水道事業会計歳入歳出決算の認定について

反対

大名 美恵子 議員

水道料金の引き上げはなかったが、一般会計補助金をゼロにする方向性を変えなかったことは、今後容赦ない料金引き上げが、本格的に開始されることの下地となる。

請願第2-1号 国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願

賛成

大名 美恵子 議員

えん罪被害者が、再審の扉が開かれず人権が抑圧されたまま獄中死するなどの多い今、速やかな再審開始のための法整備は、一日も早く求められる。地方からの多くの意見書提出は、そのための力強い後押しになる。

村政を問う!

一般質問

一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長に対して質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

岡崎 悟 議員 P.6

- 1 PCR等の検査助成
- 2 学校の網戸整備
- 3 熱中症対策支援
- 4 コロナ禍での東海病院の現状

大内 則夫 議員 P.6

- 1 賦課課税制度について
- 2 議会決議と地域の活動拠点検討委員会
- 3 一般競争入札の選定規定

植木 伸寿 議員 P.7

- 1 社会経済活動促進への考えは
- 2 教育環境の整備に関する取組状況は
- 3 工事関係者への新型コロナウイルス感染症対策の考えは
- 4 終活相談などの取組は

村上 孝 議員 P.7

- 1 農業支援センターの施策展開とその在り方
- 2 津波対策の考え方と啓蒙啓発の進め方

寺門 定範 議員 P.8

- 1 原発問題の「自分ごと化会議」の目指すもの
- 2 東海第二発電所の安全対策工事状況などの住民説明
- 3 農業生産法人設立の検討状況

笹嶋 士郎 議員 P.8

- 1 村内飲食業者の安心・安全の確保と支援策
- 2 コロナ時における集中豪雨避難対策は
- 3 村内業者育成と工事発注状況は
- 4 東海南中学校側の電柱地中化
- 5 村職員の保育士等慰労事業

恵利 いつ 議員 P.9

- 1 原電再稼働の是非について、住民の意見を聴く取組は
- 2 コロナ禍から考える公共施設の換気・空調は
- 3 コロナ禍における児童生徒の学習・心身への影響
- 4 がん検診とアフターフォロー

三上 修 議員 P.9

- 1 通学路の安全確保取組の経過確認と高規格道路建設時の安全確保
- 2 空家条例制定後の取組
- 3 光回線を利用した高齢者の見守りと生徒のGIGAスクール構想の支援

武部 慎一 議員 P.10

- 1 学校教育におけるICT環境機器整備の進捗状況と今後の整備スケジュール
- 2 学校教育におけるICT教育のこれから
- 3 生涯学習と障害学習
- 4 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）の表明

江田 五六 議員 P.10

- 1 全村民対象のインフルエンザ予防接種助成事業が必要
- 2 地域活動支援について
- 3 新型コロナウイルス感染問題以降の行政の在り方

阿部 功志 議員 P.11

- 1 住民説明会を開くよう、原電に改めて申し入れを
- 2 原子力所在地域首長懇談会のここ1年の動きと今後の予定は
- 3 台風シーズンを迎え、風水害の対策、避難対策は
- 4 秋冬に向けた新型コロナの具体的対策は
- 5 「自分ごと化会議」の講演会の扱いとその後は
- 6 広域避難計画で、受入側自治体の避難者受入は現実的に可能か

大名 美恵子 議員 P.11

- 1 感染対策としてのPCR検査の必要性
- 2 実効性ある広域避難計画は策定できるか
- 3 新安全協定の運用等
- 4 村立学童クラブの大規模化の解消と、充実を求めて
- 5 コロナ下における学校教育の課題

※青字の質問を掲載。
※ホームページでもご覧いただけます。

Q 東海村議会

検索



問 村費助成で PCR 検査の実施を

答 課題が多く村費助成は難しい

問 県内では、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、迅速に検査を進めるために、各地域医師会がPCR検査センターの開設を進めている。患者は体の不調を訴えても、医師による診察を受けなければ公費によるPCR検査を受けることができない。本人が希望した場合、PCR検査が受けられる体制を作る必要がある。PCR検査への村独自の費用助成ができるのか。

答 感染を不安に思う方が自ら希望して行う自由診療による検査に対して費用を助成する



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟



コロナに負けるな！

ことは、特定の医療機関や検査機関の対応を逼迫させる一因となり、地域の医療体制に混乱を招く恐れがある。また、検査制度の問題から、無症状者へのPCR検査単体での感染者確定は難しいこと、さらに感染判明後の濃厚接触者の特定や感染者の入院調整等、保健所が実施する業務が伴う「指定感染症」であること等を踏まえると、村が独自に費用助成をすることは難しいと考える。

問 入札の指名審査会は公開すべき

答 外部圧力を避けるために非公開

問 村内で経済を循環させるためにも、特殊な工事以外は「本社の村内」の業者に発注すべきと考えるがどうか。

答 村内業者でできるものは村内業者に発注することにより、資金が地域内で循環し、地域経済の活性化につながっていくと考える。特殊な工事を除き「本社が村内」としている。

問 審査会は非公開「秘密会」だが、莫大な公金支出を決定する審査機関である。決定状況について、議会にも村民にも情報が伝わらない。ライブ中継をとは言っていない。後日



新政とうかい
おおうち のりお 議員
大内 則夫



村外業者が受注した工事現場

でもよいから公開すべきである。

答 審査会では見積額の根拠・内容等と事故その他不測の事態への対処体制や発生時の対応等にまで議論が及ぶ。これらの議論は発注に関する不安要素を解消することが目的である。結論に至る検討段階での内容が、たとえば事後であっても公表されると、村民の誤解や憶測を招く、または外部からの圧力や干渉が及ぶ恐れもあることから非公開としている。

問 学校教育環境の整備状況は

答 今できる学びの環境を推進する

問 GIGAスクール構想の実現に向け整備状況はどうか。

答 各学校でのネットワーク整備工事やタブレットを教室に保管する電源キャビネットの据え付け工事等を行っている。一人一台の端末は年度内に利用が開始できるよう準備を進めたい。端末をより有効に活用するため、プロジェクトチームを立ち上げ、ガイドラインの作成や研修の充実などを検討している。

問 通学路でもあるフロースタ須和間の交差点は、住民から信号機設置の要望があった



公明党
うえき 植木 議員
しんじ 伸寿



一致団結 勝利に向かって走りぬけ(舟石川小学校運動会から)

問 どのように対応したのか。

答 毎年実施する通学路の合同点検での結果も踏まえ、平成29年度から信号機設置を要望してきた。本年3月28日には、高野小松原線が開通し、交通量も増加している。当該交差点の信号機は7月22日の茨城県公安委員会において設置が決定した。

問 これからの学校生活の進め方は。

答 子どもたちにとってよい思い出づくりができ、達成感が味わえるような活動を大事にしていきたい。

問 農業支援センターの設置目的は

答 本村の農業推進のため課題解決へ

問 JA経営のファーマーズマーケットに、農業支援センターを設置した農業政策の目的と狙いは何か。

答 当時JAは消費者ニーズや流通形態の多様化への対応、村は多様な担い手の確保、安全・安心な地産地消の推進等が目的だった。

問 JAが組織拡大され、収益事業が強化されていく中で、村の農業政策のさらなる推進を図るため、支援センターを強化すべきでは。

答 JAと村の関係は車の両輪と考えている。今後も本村の目指す村民全員参加する、持続



むらかみ たかし
村上 孝 議員



農業支援センターのさらなる推進をのぞむ

可能な農業を目指す。

問 コロナ禍での複合災害対策は

答 防災・減災に万全の態勢で臨む

問 原電の津波対応と村の津波対策には合理性がないのは何故か。

答 台風とコロナ禍、地震と津波といった複合災害についてどう捉えているか。

答 原電は基準津波を策定しており評価手法の違いによるもの。多くの避難所の開設や、間仕切りの確保、民間施設の利用を進める。

問 自分ごと化会議の狙いは

答 住民の関心を高めること

問 村は、東海第二発電所問題に関して「住民の意向把握」を課題の一つとしており「自分ごと化会議」を実施するとしているが、会議の目的・狙いと住民意向把握へのプロセスを伺う。

答 東海第二発電所を取り巻く問題は、まずは自分たちにできることを考え「自分たちはどうありたいのか、どうしたいのか」の議論を進める。参加者が主体性を持ちながら、徐々に方向性を定めるような運営スタイルを取ることによ



新政とうかい
寺門 定範 議員



9月15日に開催された講演会
「原発問題を自分のこととして考えると？」

り「誰かが考える問題」ではなく「自分の問題」として関心を高める動きが広がっていくことにある。会議のプロセス・結論等に関して、あらかじめ予定するシナリオのようなものはない。現時点では「原発問題」に関して冷静に話し合える場ができてきたこと。その後は成り行きを見ながら参考にしていくところまでできたことは、大きな前進の段階にあると考える。「住民の意向把握」に関して次の展開まで見通したものはない。

問 飲食や買い物 キャンペーン実施を

答 効果のある支援策を検討する

問 本村で新型コロナウイルス陽性患者が確認されてから、若干持ち直した人波は夜の街からぱったりと消えた。村内飲食業者は、廃業と背中合わせの切羽詰まった状況にある。村内飲食業者への支援策として、日立市が行う「ひたちのまちで買い物」キャンペーンを実施してはどうか。

答 現在、村独自支援策の速やかな執行に、誠心誠意取り組んでいる。日立市のキャンペーンは、今後の参考としたい。

問 本村の新型コロナウイルス対策は、他自



新政とうかい
笹嶋 士郎 議員

治体がない支援策に次々と取り組んでおり、その努力は認める。しかし飲食業の実態は、本当にひどい状況にある。このキャンペーンを実施するための対応が追いつかないのであれば、職員・会計年度任用職員の増員が有効な手立てと考えるのがいいか。

答 今年度、商工担当を増員した経緯もあり、今後の職員体制は、適宜状況を見て対応していきたい。また、新たな支援策は何が有効かを見極めながら検討していく。



空気清浄機やアクリル板を設置し、
コロナ対策した居酒屋の座敷

問 がん検診の現状と その後の支援は

答 不安な気持ちに寄り添う支援を

問 さまざまな要因で、2人に1人は「がん」になると言われている。がん検診の現状は。

答 住民検診における、全てのがん検診で県平均受診率を上回っている。特に胃がん検診は県内トップである。

問 今や多くのがんが早期発見、早期治療で治る時代。受診率向上の取り組みは。

答 受診率の強化が必要。大腸がん、乳がん、子宮頸がんは希望の年齢の方に関わらず、一定の年齢の方に受診券を送付する。婦人科検診では無料託児サービスのほか、日時予約制を導入



みすずの会
えり 利 議員



がんを患った人だからこそわかることがある。
また、不安のある方に寄り添いたいと思う人がいる。
ひたちなか市がんサロン「みち草」交流風景

入するなど、受診しやすい環境整備に取り組んでいる。

問 精密検査によりがんが発見された方へのアフターフォローは。

答 緊急時は、保健師が個別訪問する。また、精密検査未受診者を追跡調査し受診を促すとともに、受診できない背景等を確認し、相談にも応じている。

問 がんが発見された後こそ、当事者の不安は大きくなるが。

答 村としてどのような支援が可能か、さらに研究していく。

問 超高齢化時代の住民見守りは

答 ケーブルテレビ網の活用を検討

問 本村でも高齢者の孤独死が散見されている。住民の半数以上が65歳を超える緑ヶ丘区や南台区をはじめ、高齢者の見守りは急務である。安全・安心なまちづくりを実現する施策は。

答 増加が予想されるひとり暮らしの高齢者を孤立させないひとつの有効な手段として、ケーブルテレビを利用した見守りがある。リモコンの「入切」操作で利用者の安否確認ができる。今後は、村独自の情報提供や災害時の情報発信とともに見守りの仕組みを検討する。



新政とうかい
み かみ おさむ
三上 修 議員



リモコンの入切で安否を確認

問 空き家条例制定後の取り組みは

答 民間と協働で対応し相談窓口開設

問 本村の空き家対策条例が施行される。資源の有効利用やまちの再生のほか、火災や事故を未然に回避するための喫緊の対応が必要となる。村の具体的な施策は。

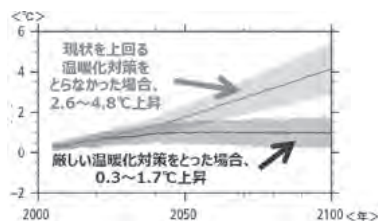
答 中古住宅の流通促進を目的として民間事業者や団体と連携し、「空き家バンク」の創設及び空き家の総合相談窓口を開設する。

問 ゼロカーボンシティ 表明の主旨は

答 環境基本計画に位置付け展開する

問 東海村は令和2年7月28日、廃棄物と環境を考える協議会に加盟し、多くの自治体とともに2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目標とした宣言が行われた。東海村は既に多くの脱炭素化活動が進められ、CO₂削減効果についても、それぞれ評価が進められているが、これまでの活動の継続と今後の進め方について伺う。開発行為によるCO₂吸収効果削減は考慮されない等、全体評価のルールも含め検討すべきでは、考

平均気温からの気温上昇推計
(環境省地球環境局日本の約束草案(H28年1月)
IPCC第5次評価報告より抜粋)



複数の気候変動シナリオによる予測結果。温室効果ガス削減緩和策をとることで、上昇を抑えることが必要。

答 協議会は、北茨城市の最終処分場に廃棄物を搬入する関東地方を中心に73の市町村で構成する。廃棄物減量化、資源化、循環型社会の構築等、情報交換等を行うことを目的に設立された。第6次総合計画に盛り込んだSDGsの理念にも合致する。今後は、その一員として、これまでの低炭素事業を推進しつつ、現在策定中の第3次環境基本計画にも位置づけ、ゼロカーボンシティに向けた取組を積極的に展開していく。



新政とうかい
たけべ しんいち
武部 慎一 議員

問 コロナ禍で 村民に大切な支援とは

答 ウイズコロナを見据えて対応

問 コロナ感染予防は、睡眠・バランスのとれた食事・運動が大切。村民がドアツードアで運動できるような散歩道の整備が必要。

答 散歩道の整備は、自治会をはじめボランティア活動に対して、必要な支援を行う。

問 43年も経過した外宿浄水場改修工事は、宿浄水場は随時改修を行い、安全・安心で安定的な水道水の供給に取り組む。

問 村の上下水道総延長は、東京往復より長い。村民生活に大切なイン



みすずの会
えだ いつむ
江田 五六 議員

フラの長寿命化は。

答 事故発生や機能停止を未然に防ぐため、耐震化を合わせ、整備を進めている。

問 総延長380kmの村道整備の見通しは。

答 村道の整備は、老朽化対策を優先的に進める。上下水道工事後の道路の苦情には、速やかに対応する。

問 各補助事業については、コロナ禍の今こそ見直しが必要。ウィズコロナ時代に相応しい補助事業とは。

答 各補助事業は、各団体等の活動状況や、方向性を見ながら支援の在り方を検討する。



43年経った外宿浄水場の貯水槽のひび割れ

問 災害時、村の避難所の 収容人数は

答 白方小 200 人など計 1500 人



みすずの会
あべ こうし 議員

問 災害時、村内避難所の収容人数などは。
答 石神コミセン148人、白方コミセン130人、石神小180人、白方小200人。村全体で1508人。対応する職員は避難所1カ所に4人・2交代制で運営する予定。

問 原子力災害時、避難先の体制は。
答 避難先や県と調整協議を進める。

問 本村の避難先は取手・守谷・つくばみらい市で、1避難所の平均は341人、713人。本村の例から見て、



避難先のひとつ 白方コミセン
(駐車場の工事中)

とても収容しきれない。駐車場も避難用車両も対応する職員も足りず、ペットは受け入れない。この上感染症対策を加えれば実効性のある計画策定は不可能だが。

答 引き続き県南3市や県と必要な連絡調整・協議のほか、避難所の追加指定やホテル・親戚等への避難に関する周知等、課題の整理を進める。新型コロナウイルス感染症対策を取りながらの避難先自治体職員による避難所開設が可能な場合は、場合によっては実動型での検証も必要と考える。

問 保育施設改善は 学校以外の場所で

答 官民既存施設の活用等を考えたい



おおな みえこ 議員

問 全国学童保育連絡協議会は、児童の安全・安心な生活保障の側面から、大規模化では厳しい生活を強いられる、指導員や友達と関係がつかれない、他2点あげている。本村の現状は。
答 入所対象は全学年集団の規模は概ね40人以下を「支援の単位」とし、放課後児童支援員は「支援の単位」ごとに2人以上配置する。放課後児童クラブ運営指針に基づき適正に対応している。

問 適正とはいえワンフロアに多人数なのはどうか。場所の確保で



8月31日現在の登録者数が115人の中丸学童クラブ

は生活の場、育ちの場としての環境整備が重要。文科省の「放課後子供教室」とは質的に違う。本村の学童保育はどうあるべきか。

答 保護者との信頼関係、家庭と学童クラブの情報共有に努め、児童が安心して生活できる「第二の家庭」的環境づくりに努める。

問 昨年の白方小での新たな子ども居場所づくりの可能性検証もあるが、学校ではない場所の活用を。
答 官民既存施設の活用等を考えたい。

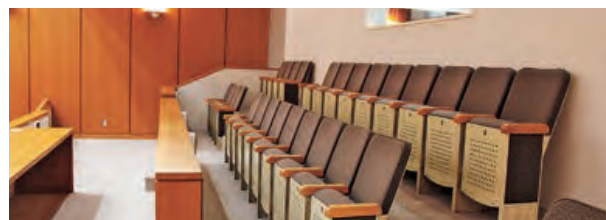
表紙写真の紹介



村内で燃えるゴミの回収作業を行っているようす。新型コロナウイルス感染症拡大の中で、清潔な環境を保ち、人々が快適に暮らせていることは、日々働く皆さんのおかげです。村民生活を支える皆さんに心からの感謝を。

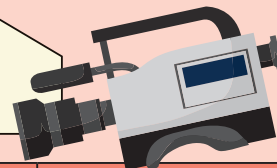
傍聴から はじめよう！

どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越し
ください。(受付は30分前から)



12月定例会日程 (予定)

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中



期 日	時 間	内 容
12月1日(火)	午前10時～	開会
12月9日(水)	午前10時～	一般質問
12月10日(木)	午前10時～	一般質問
12月11日(金)	午前10時～	一般質問

期 日	時 間	内 容
12月14日(月)	午前9時～	予算決算委員会
12月15日(火)	午前10時～	予算決算委員会
12月18日(金)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

イモソー
ファミリー
と学ぼう

議会の豆知識
No.17

選挙の「供託金」ってなに？

令和2年6月、公職選挙法の一部を改正する法律が成立し、公布されました。
今回は、公職の選挙に立候補する際に、必要となる供託金についてお伝えします。



供託金ってなに？

国や県、市などの選挙に立候補する場合、立候補の
濫用防止などが目的で、それぞれに定められた供託
金を納める必要があります。



村の選挙ではいくら必要なの？

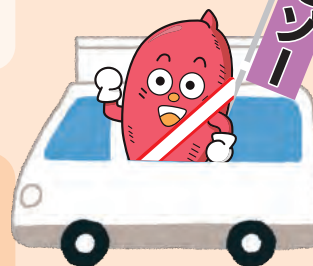
村長選挙では50万円の供託金が必要ですが、町村議員の選挙では供託金がないため、村議会選挙では必要ありませんでした。しかし、令和2年6月の法改正により、次の選挙から15万円の供託金を納めることになります。



供託金はどうなるの？

供託金はいかに使用することとは無く、定められた得票数を満たせば返金されます。一方、その定められた得票数に満たない場合、供託金は村に帰属されます。

立候補しました。
イモソーです。



いもソー